

# ほやほや

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院広報誌  
vol.066  
平成31年4月発行



日本赤十字社 福井赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

ご自由に  
おとりください。



## イベントスケジュール

DUO詩音コンサート  
(サックス・ピアノ)  
4/25(木)・5/23(木)・6/20(木)・7/25(木)  
13:30~14:00

こことの薬箱コンサート  
4/26(金) 13:00~13:30

歸山さんのみんなで歌おう!  
ピアノコンサート  
5/8(水)・6/12(水)・7/10(水)  
13:00~13:30

もっとクロス! 赤十字フェスティバル  
5/11(土) 9:00~16:00

FRM大嶋さん  
ソプラノリコーダーコンサート  
5/17(金)・6/21(金)・7/19(金)  
13:30~14:00

よつばの会コンサート  
(ハーモニカ・ギター)  
6/7(金) 13:30~14:00

CONSOLATAコンサート(オカリナ)  
6/17(月) 13:30~14:00

## CONTENT

今年も新しい仲間が加わりました!  
未来を担う、新入職員!

抗菌薬適正使用支援チーム(AST)

入退院支援センターの整備について

緩和ケア病棟が日本ホスピス緩和ケア協会より認証

病棟紹介(1-7病棟)

美味しく安全な食事作りのための取り組み

もっとクロス! 赤十字フェスティバル開催

健康・医療情報室「スマイル」をご利用ください

中央放射線部 豆知識

栄養課おすすめレシピ

栄養課  
おすすめ!

## 桜鯛の和風 アクアパツツア

“めでたい”とかけて慶事には欠かせない鯛。春先に水揚げされるものは「桜鯛」と称され、季節の風情を感じる魚としても親しまれています。福井では1年中捕獲されますが、4~5月が最漁期を迎えます。脂質が少なく、味はあっさりしているため、和洋中問わず色々な味付けと相性が良いのが特徴です。

今回は、白ワインで魚介を煮込むアクアパツツアを和風に調味したレシピを紹介します。鯛に含まれるうま味成分のイノシン酸は、昆布に含まれるグルタミン酸と組み合わせることで飛躍的にうま味が強くなります。

### 材料 (2人分)

鯛(切り身)	70g(2切れ)
しめじ	100g
エリンギ	60g
ミニトマト	6個
にんにく	1片
オリーブオイル	大さじ1・1/2杯
水	100cc
昆布茶	小さじ2杯
大葉	2枚



### 作り方

- しめじは石づきを取り、食べやすい大きさにほぐす。エリンギは拍子切り、ミニトマトは半分に切る。
- みじん切りにしたにんにくとオリーブオイルを鍋に入れて炒める。にんにくの香りが出たら、しめじ・エリンギを入れ炒め、しなりしたら鍋の外側に寄せる。
- 鍋の中央に鯛を裏返して入れて焼き、焦げ目がついたらひっくり返す。水と昆布茶、ミニトマトを入れる。沸騰したらふたをして、中火で3分ほど加熱する。
- 皿に盛りつけ、千切りにした大葉を散らす。

### 栄養量 (1人分)

エネルギー	217kcal
たんぱく質	17.3g
脂質	13.5g
炭水化物	9.1g
塩分	0.2g

## 今回の表紙

### 赤十字の一員として新たなスタート!

この春に入職した、初期臨床研修医師、薬剤師、臨床工学技士、看護師、事務職員です。3日間の新人研修を終え、それぞれの制服に袖を通しました。医療人としてのそれぞれの思いを胸に、これから励んでまいります。



### 福井赤十字病院

#### 理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

#### 基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号  
TEL.0776-36-3630(代) FAX.0776-36-4133  
E-mail webmaster@fukui-med.jrc.or.jp  
http://www.fukui-med.jrc.or.jp/  
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

# ほやほや

“ほやほや”と納得できる情報、できたて“ほやほや”的情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員の皆で毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれから原稿を集め誌面を制作しています。

# 新入職員が抱負を語ります!

今年も新しい仲間が加わりました!

# 未来を担う、新入職員!

平成31年4月、今年も新たに総勢約80名の新入職員が入社しました。

初々しい面持ちで、希望と不安を胸に抱き、赤十字病院の一員として第一歩を踏み出した若者たち。

3日間の研修を経て、現在は各部署に配置され先輩たちの指導のもと日々業務に励んでいます。

これからたくさんの知識と経験を積み、患者さんのために頑張るニューフェイスたちの

今後の抱負と研修の様子を紹介します。



新入職員研修 社会人として、福井赤十字病院の職員として、3日間にわたり様々な研修を行いました。



長い間、関東で高齢者医療に携わる仕事をしてまいりました。その後、一念発起して医師となり、ついに生まれ育つた福井県に初期臨床研修医師として帰つてまいりました。一人前の医療者になるために学ぶべきことはたくさんありますが、医療の主役は患者さん御自身であることを忘れず、医療チームの一員として全力を尽くしていくないと考えています。地域の皆様のお力になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

長い六年間の大学生活を終えてついに社会人として第一步を踏み出すことができました。まだ分からることは多く、ちゃんとやつていけるか不安な部分もありますが、積極的に専門性を發揮し、頼りにされる薬剤師を目指してがむしゃらにいろんなことに挑戦していくたいと思います。

医療機器の操作や点検を行い、安全な医療機器を提供することが臨床工学技士の仕事です。そのためには細かな確認、責任のある行動が必要になってきます。

今は慣れないことばかりですが、たくさん経験して現場に早く馴染めるよう努めたいです。また、病院内での職員の明るい挨拶がとても印象的で、私も自分の名前を覚えていただくために明るい挨拶を心掛けたいです。

春から、事務職員として働いていた。私の抱負は、笑顔で和やかな雰囲気の事務職員になることです。自ら挨拶することももちろん、業務や、医療知識についても、自ら学ぶ姿勢を常に持ち続けていきたいと思っています。

まだまだ無知な私ですが、日々新しいことを学び、吸収していくことで、故郷である福井県の医療の連携に、少しでも早く貢献できるよう、努めていきます。

初期臨床研修医師  
永井 将也

薬剤師  
木村 武史

臨床工学技士  
高松 理瑚

看護師  
道見 明里砂

事務職員  
長谷川 桃子

## 抗菌薬適正使用率（A S T）について



# 入退院支援センターの 整備について



## 病棟紹介

# 1-7病棟

1-7病棟は内科病棟で、主に血液内科(白血病、悪性リンパ腫、貧血など)と内分泌内科(糖尿病など)の患者さんが入院生活を送っています。

他の病棟と違うところは、空気がきれいな『無菌室』があることです。病院の中で一番きれいな病棟と言われています。『無菌室』の中でも快適な療養生活を送ることができるよう支援しています。

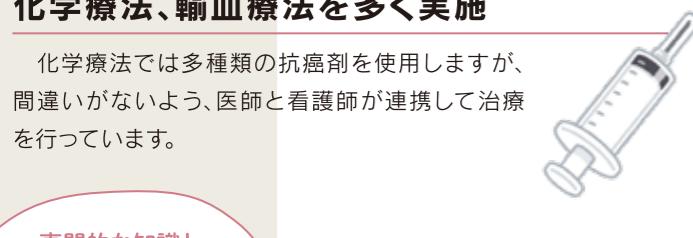


無菌エリアでは、  
廊下もお部屋もキレイな空気で、  
患者さんを守ります。



化学療法、輸血療法を多く実施

化学療法では多種類の抗癌剤を使用しますが、間違いがないよう、医師と看護師が連携して治療を行っています。



#### 専門的な糖尿病指導を実施

糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師2名が、糖尿病教室の講師としても活躍しています。入院患者さんやご家族に療養指導を行っています。

世界的に薬剤耐性菌（AMR）が問題になっています。世界各国で対策が進められており、日本政府も耐性菌感染症に積極的に取り組む姿勢を明確にしています。耐性菌対策の重要な柱の一つに抗菌薬適正使用があります。過去の抗菌薬頻用や乱用は耐性化を助長した原因の一つとされています。

そこで注目されているのが抗菌薬適正使用支援（AS）という取り組みであり、政府のお墨付きです。既に欧米では1990年代から積極的に取り組まれておりガイドラインも出てています。

ASTはASを行うTeamのことです。ASTの目的は、主治医が抗菌薬を使用する際、患者さんに対しても最大限の治療効果を導くと同時に、有害事象ができるだけ最小限に留め、いち早く感染症治療が完了する（最適化する）ことです。感染症診療を行っている医師・薬剤師・臨床検査技士・看護師が、チームとなつて主治医の支援を行

A photograph showing five healthcare workers in white coats and caps gathered around a computer workstation. One man in the foreground is seated at the desk, looking intently at the screen. Four other individuals stand behind him, also focused on the monitor. They appear to be discussing patient information or treatment plans.



**当院の緩和ケア病棟が、日本ホスピス緩和ケア協会より認証されました**

日本ホスピス緩和ケア協会は、国内緩和ケア病棟(355施設)が参加している団体で、緩和ケアの普及と質の向上に取り組んでいます。

今回、「当院の質向上の取り組み」について認証されました。多職種の話し合いで、多職種による評議会が実現されました。緩和ケア認定看護師は、患者さんだけでなくご家族の苦痛も取り除くケアを目的に、多職種と協働しています。

今後もケアの質向上に努めてまいります。



日本ホスピス緩和ケア協会は、国内緩和ケア病棟（355施設）が参加している団体で、緩和ケアの普及と質の向上に取り組んでいます。

点を見つけて改善していくとする取り組みが評価されました。緩和ケア認定看護師は、患者さんだけでなくご家族の苦痛も取り除くケアを目的に、多職種と協働しています。

今後もケアの質向上に努めてまいり

予約入院される患者さんが、安心して入院治療を受けられるよう、入院前から多職種で手厚く支援するとともに、治療後の円滑な退院を支援する入院支援センターを、今年4月より設置いたしました。また、5月の「ゴールデンウイーク」明けには、個別の相談室を増設して新しい環境となります。

入退院支援センターでは、患者さんの生活情報や、入院生活に対する不安や心配事、要望を入院前からお伺いします。治療・処置について丁寧にわかりやすく説明することで、入院生活や治療過程をイメージし、不安なく入院できるよう対応していきます。

また、病棟看護師と連携をとり、退院後の生活や、各種申請手続きなどの相談にも対応し、患者さん一人ひとりにあつた入院治療および退院後の療養生活に向けての支援をいたします。

心配事、要望を入院前からお伺いします。治療・処置について丁寧にわかりやすく説明することで、入院生活や治療過程をイメージし、不安なく入院できるよう対応していきます。

また、病棟看護師と連携をとり、退院後の生活や、各種申請手続きなどの相談にも対応し、患者さん一人ひとりにあつた入院治療および退院後の療養生活に向けての支援をいたします。

# 美味しく安全な食事作りのための取り組み

**美味しい!**  
とじうことは、食事において  
とても大切なことです。

栄養課では、病院食を楽しんでいたくため、行事食や郷土料理、季節食材の料理にメッセージカードを添えています。行事食には手作りデーターの提供、郷土料理にはレシピの添付も行っています。また、産婦人科では、出産前後の栄養指導や貧血対応レシピを載せた敷紙、夜食、出産のお祝い膳を提供しています。妊娠から出産後まで母体の健康づくりと乳児の健やかな成長を食生活で支援しています。その他、生活の場をコンセプトにした緩和ケア病棟でも四季折々の敷紙や磁器を使用し家庭食を演出しています。

## <行事食などの例>



当院ではHACCP(※1)による認定を受けた衛生管理を行っています。昨年よりクックチル方式(※2)を一部導入し、食品中に細菌が繁殖しやすい10~60℃の温度帯を短時間にすることにより一層の安全な食事提供が可能になりました。

※1 原材料の入荷から食事提供に至る全工程の中で、安全性を確保する衛生管理の手法

※2 加熱調理後90分以内に中心温度を30℃以下まで急速冷却→そのまま0~30℃で保管→配膳前に再加熱する調理方式

## <\*\*2クックチル方式に必要な調理器材を導入>



### 再加熱



大規模災害などの発生で電気、ガス、水道のライフラインが使用不可能な場合にも安全な食事が提供できるよう、非常食(600名×9食分)の備蓄を行っています。

## <非常食備蓄>



## <食中毒予防の三原則>

- ① つけない／洗浄
- ② 増やさない／乾燥
- ③ 殺菌する／乾燥、殺菌

細心の注意を払って食中毒対策を行っています!!

## もつとクロス！赤十字フェスティバル

5月11日（土） 9:00～16:00  
会場：福井赤十字病院  
●救急法 ●被災地紹介・復興市 ●炊き出し  
●防災 ●献血 ●測定 ●ハンドメイドマーケット  
●市民公開講座  
「花粉症と食物アレルギー」  
演者：耳鼻咽喉科部長 大澤陽子  
「橋本綱常って知っているかい？」  
演者：福井市立郷土歴史博物館館長 角鹿尚計さん  
日時：10:00～12:00  
定員：200名（申込・参加費不要、先着順）

5月11日（土）に開催します。測定コーナーなど毎年恒例の企画に加え、今年は起震車に乗れる防災コーナーを新設します。また、市民公開講座ではこの時期にぜひ聞いていただきたい「花粉症と食物アレルギー」について講演します。



## 健康・医療情報室「スマイル」をご利用ください

「病氣に関する本つて、私達が見てもわからないんでしょう?」「ちょっと早く着いちゃつたな」「診察まで時間がありますけど、どうしようかな?」。そんな時に健康・医療情報室「スマイル」をご利用ください。

「スマイル」には、分かりやすい健康や医療に関する書籍はもちろんのこと、小説・雑誌、インターネット、Wi-Fi等もご利用しています。ご利用いただくみなさんにゆつたりとしたスペース、リラックスして過ごせる時間をご提供しています。

さらに、「スマイル」においても外来診察のお呼び出しをするサービスもありますので、特に外来の診察待ち時間にご利用いただければピッタリです。ご希望の方は外来受付、または「スマイル」スタッフにお気軽にお声掛けください。

「病院内でくつろげる」空間でちょっとと一息いかがですか。



ゴールデンウィークの診療体制についてのお知らせ	
<b>4月</b>	
27日(土)	休 診
28日(日)	休 診
29日(月)	外来診療(午前中 下記の診療科のみ) ①内科、②呼吸器内科、③消化器内科、④小児科、⑤外科、⑥整形外科、⑦腎臓・泌尿器科、⑧放射線治療(予約の方)、⑨外来化学療法(予約の方)
30日(火)	休 診
<b>5月</b>	
1日(水)	休 診
2日(木)	全科通常診療
3日(金) ～6日(月)	休 診

中央放射線部からの  
**豆知識**

## 胸部X線撮影の素朴な疑問

Q 良い胸部写真を撮るために?

A 胸部X線撮影は主に肺を見る検査です。大きく息を吸って止めることで肺が広がり、肺の状態を正確に知ることができます。撮影時には合図に合わせた息止めの協力をお願いしています。



また、金属以外に、ボタン・湿布・カイロ・服のしわやプリント、カップ付の下着、ゴムの締め付け、束ねた髪なども写りますので、肌着1枚で検査を受けてください。